沼上最終処分場における経過観測を目的とした空間線量率等の測定結果

平成２４年度に行った災害廃棄物の本格焼却に伴い、発生した飛灰等を埋め立てた沼上最終処分場について、経過観測を目的とした敷地境界の空間線量率と放流水の放射性物質濃度測定を行い、公表しています。これは令和７年度における測定結果です。

これまで測定結果は、空間線量率で全て0.1μSv/h未満であり、国際放射線防護委員会（ICRP）勧告の公衆被爆限度（実効線量）年間１mSv（単純計算で１時間あたり約０.１４４μＳｖ/h）の範囲内です。また、放流水のセシウムの放射性物質濃度は全て検出下限値未満です。

１　敷地境界の空間線量率

単位：μSv/h

施設名 / 測定年月日	沼上最終処分場				
	東側境界線	南側境界線	西側境界線	北側境界線	バックグランド
令和6年5月7日	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
令和7年8月6日	0.05	0.04	0.04	0.04	0.05

□測定機関名：株式会社静環検査センター　静岡支店

□測定機器名：日立アロカメディカル株式会社製　NaI(Tl)シンチレーションサーベイメータTCS-172B

〇過去の測定結果【参考】

施設名 / 測定年月日	沼上最終処分場				
	東側境界線	南側境界線	西側境界線	北側境界線	バックグランド
平成23年7月～令和７年3月	0.05～0.07	0.04～0.06	0.06～0.07	0.04～0.06	0.04～0.06

２　放流水の放射能濃度

単位：Bq/L

施設名 測定検体 試料採取日	沼上最終処分場 放流水
令和6年5月7日	不検出（＜１）
令和7年8月6日	不検出（＜１）

□測定機関名：株式会社静環検査センター　静岡支店

□測定機器名：キャンベラ社製　ゲルマニウム半導体検出器GC2020／GC4020

※測定結果が検出下限値未満の場合は、「不検出（＜〇）」とし、かっこ内にセシウム134及びセシウム137の検出下限値を記載しています。

〇過去の測定結果【参考】

施設名 測定検体 試料採取日	沼上最終処分場 放流水
平成24年４月～令和７年3月	全て検出下限値未満